

## 地域貢献☆杉並区次世代育成基金&ベルマーク

先日杉並区から封書が届きました。

同封されていたのは「杉並区次世代育成基金実施報告書」でした。

昨年杉並区次世代育成基金の存在を知り、ご縁がある杉並区の子もたちのお役に立てればと思い、本当に些少なから協力したことを思い出しました。

次世代育成基金の活動を調べるうちに、なぜかふとベルマークのことが頭に浮かびました。

ベルマークを集めることが好きだった私は、いつか近隣の小学校に持って行こうと思いつきながら、いまだに集めています。

そのようなわけで、今回は次世代育成基金&ベルマークについて皆さんと情報を共有したいと思います。

### ■杉並区次世代育成基金とは？

「子どもたちの夢を応援する」ことを目的に、平成24年に創設されました。

次代を担う子どもたちが、自然・文化・スポーツなどさまざまな分野における体験・交流事業への参加を通して、視野を広げ、将来の夢に向かって健やかに成長できるように支援するための杉並区独自の仕組みです。

基金を活用した事業は、「区が実施する事業」「民間の団体や法人等が実施する事業」の2種類あります。

これまでの累計は区が実施した次世代育成基金活用事業の累計（平成24年度～令和5年度）

- ・区が実施した事業数 延べ75件
- ・参加者数 延べ2,948名
- ・基金活用累計額 163,509,000円

すぎなみサイエンスLabo、こども国内交流、中学生海外留学など、子どもたちを対象とした事業に対し、基金を活用しています。

基金のしくみや事業についての詳細は、杉並区のホームページをご覧ください。

（杉並区公式ホームページ）

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/kyoiku/ikusei/index.html>

### ■ベルマークについて

主催しているのは、ベルマーク教育助成財団です。<https://www.bellmark.or.jp/>

「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」。

ベルマーク運動は、そんな願いをこめて1960年に始まりました。

1点が1円に換算されてベルマーク預金になり、自分たちの学校に必要な設備・教材が「協力会社」から購入できます。

同時にその購入金額の10%が自動的にベルマーク財団に寄付され、へき地や特別支援学校、被災校への支援、NPOへの支援など、さまざまな教育援助活動に使われます。

### ■個人に便利なウェブベルマーク

集めて購入するためには学校単位という規定がありますが、援助することは個人でも可能です。直接ベルマークを持ち込む方法もありますが、ウェブベルマークという方法もあります。

登録しているショップで買い物をすれば、所定の点数が指定した学校や被災校支援に役立てられます。

ショッピングリストを見たら時々買い物をするお店もあったため、次からはウェブベルマークに登録して使ってみようと思います。<https://www.webbellmark.jp/>

我が子たちが社会人となった今、これまで多くの支援をいただいたことに深く感謝しています。

「次世代育成基金」の説明文にある「支援の循環」という表現に共感を覚え、自分の子育て中にいただいた支援に対する恩返しをすることこそが、私にとっての「支援の循環」であると感じています。

日頃から社会貢献を意識しながら園の運営に取り組んでいますが、次世代を担う子どもたちのために、個人的にもこの恩返しの輪を広げていきたいと思っています。

（飯塚）